

平成 25 年度 第 2 回一宮市子ども読書活動推進懇話会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成 25 年 5 月 21 日（火）午後 2 時～午後 3 時 15 分
- 2 開催場所 中央図書館 7 階 講座室
- 3 出席者 委 員 8 名（欠席 2 名）、
事務局 7 名
- 4 議 題
 - （1）「子ども読書のまち宣言」（素案）について
 - （2）その他
- 5 開会（事務局が開会を宣言）

図書館長挨拶
懇話会会長挨拶

 - ・議事の進行は、一宮市子ども読書活動推進懇話会設置要綱第 5 条に基づき、子ども読書活動推進懇話会会長が務めた。
- 6 会議録（要旨）

（会長） 議題 1 について審議をお願いします。

（事務局） 前回、ご審議いただきました「子ども読書のまち宣言」（素案）について、懇話会としてご意見を集約していただき、市民意見提出制度の案とし、7 月 1 日より 1 ヶ月間市民の方から意見を募集します。

今後、9 月に第 3 回子ども読書活動推進懇話会においてパブリックコメントの結果をふまえてご審議いただき、「子ども読書のまち宣言」の宣言文案を決定いたします。

その宣言文案を 10 月の定例教育委員会で諮った後、市議会の議案として提出して、12 月で議決を受ける予定です。来年 1 月の中央図書館開館 1 周年にあわせ、「子ども読書のまち宣言」の発表記念イベントを子どもたちも交えて開催したいと考えております。

（委員） 前文について「子どもたちにとって」を外すと文が成立する。もし、「子どもたちにとって」を外さないならば、「創造力を豊かなものにしてくれるものです。」としてはどうか。

（委員） 前文に、「本との幸せな出会いを体験することによって」とあるが、「幸せな」と「体験」という言葉をなくし、文を短くしてはどうか。「ちいきの方と」は、子どもが読むので「ちいきの人と」もしくは「ちいきの人々と」に直すのはどうか。

（委員） 宣言文に「いっぱい知識を学びます。」とあるが、子どもたちにとって、色々な種類の知識という意味で「いろいろな知識を学びます。」ではどうか。

（委員） 宣言文の 1 つ目に「知恵」という言葉があったほうがいいのか。

（委員） 前文の「創造力を豊かなものにしてくれます。」とあるが、そのあとの文に

「人生を魅力的なものにしていく」という表現があり、「ものにして」が重なっているので、「創造力を豊かに育んでくれます。」にしてもいいではないか。

(委員) 前文の「この地に生まれ育つすべての子どもたちが」とあるので、最初の「子どもたちにとって」は省いてもいいのではないか。

(委員) 最初に「子どもたちにとって」とはじまったほうが、子ども読書のまち宣言の前文としてふさわしい。

(委員) 前文の「創造力」は、子どもには無限大に広がる発想があるという意味で「想像力」のほうがいいのではないか。

(委員) 前文の出だしは「読書は、子どもたちにとって」にして、読書の基本的な理念を書いて、次の段落で「一宮市は」としたほうがいいのはでないか。

(委員) 「言葉を学び」と「表現力を高め」は表現が似ているので「言葉を学び」をなくしてはどうか。

(委員) 「言葉を学び」はぜひ入れたい。「創造力」も「想像力」もどちらも大切ですが、読書ならば、先に来るのは「想像力」だと思うので、「想像力を豊かなものにして」と変え、「感性を養い」をなくしたらどうか。

(委員) 想像力を豊かなものにすることと、感性を養うことでは少し意味合いが違う、「本を読むことは欠かせないことです。」はとても大切な文章で、最初の「読書」と言葉が重なるが、最初に「読書」とはこういうものと説明して、だからこそ「本を読むことは欠かせないこと」と受けて、「読書」というものを強調していると思うので最初の2文を1文にまとめるとインパクトが弱くなる。

(委員) 最初の2文を1文にまとめたほうがいい。1文にすると、「子どもたちにとって」や「読書は」が後ろまで意味がかかるのでわかりやすい。

(委員) 一般的な読書の効用を言っているわけではなく、子ども読書のまち宣言なのだから「子どもたちにとって」があったほうがいい。

(委員) 「想像力を豊かなものにしてくれます。」を「想像力や感性を豊かに養ってくれるものです。」としてはどうか。

(委員) 「読書は」は一般的な表現だが、「本を読むことは」は能動的な意味合いがあるので、この言葉の使い方はいい。

(委員) 「言葉を学び、表現力を高め、想像力を豊かにし、感性を養ってくれるものです。」とし、同じ調子にしたほうがいい。

(委員) 宣言文で、「いろいろな」ではなく「いっぱい」という表現を使ったのは理由があるか。

(事務局) 特に低学年の子どもは、「いろいろな」より「いっぱい」という言葉をよく使うので、小さい子どもに親しみを持たせるため、「いっぱい」とした。

(委員) 宣言文については、子どもたちが考えたものでよくできているし、「やっぱり」という言葉を使っているところに良さがある。

(会長) 大人の表現ではなく、子どもの表現にするということで「いっぱい」に決めたい。

(委員) 宣言文の「ちいきの方」は「ちいきの人たち」にして、「ちいさいころから読書に親しみ、ちいきの人たちと本を交流します。」ではどうか。

(委員) 前文の「本との幸せな出会いを体験することによって」という表現が気になる。「本との出会いによって」でいいのではないか。

(委員) 「本との幸せな出会いを体験する」は、ブックスタートで本をもらってお母さんに抱っこされながら子どもがはじめて絵本を読み聞かせしてもらうというイメージがある。ただ出会うだけではないので、「幸せな」があったほうがいい。

(会長) 学校教育課と打ち合わせにおいて修正するときは、懇話会委員の意見を伝えていただきたい。

(会長) 長時間にわたり、ご審議ありがとうございました。以上をもちまして第2回懇話会を終了します。